

電気火災に注意！

日頃から、身のまわりの電気の安全を心がけましょう

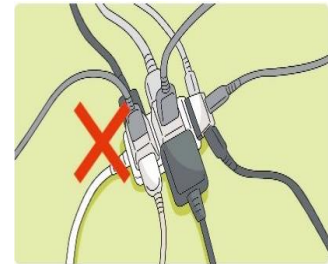


電気製品や電気コードが関係する火災は、不適切な取扱いなどにより毎年多く発生しています。電気火災の内容を確認して、火災を未然に防ぎましょう。

【電気火災の内容】

◆過電流（たこ足配線は危険です！）

電気コードは、一度に流せる電気の量（定格容量）が決まっています。たこ足配線などにより、定格容量を超えて一度に多くの電気製品を使用すると、発熱して出火することがあります。また、コンセントへの差込数が少ない場合でも定格容量を超えると危険です。

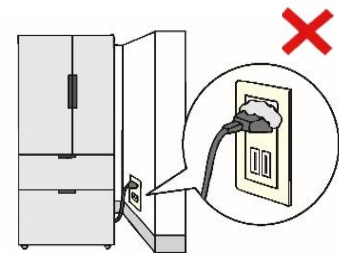


【例】電子レンジ（1000W）とオーブントースター（550W）を同時に使用する場合などは、定格容量を超え危険です。

○対策：コンセントやコードには、使用できる電気量に制限があります。表示されている電気量を確認して使用しましょう。

◆トラッキング現象（コンセントのホコリと湿気にご注意！）

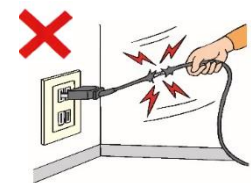
長期間、電気プラグを差し込んだままでいると、コンセントと電気プラグの隙間にホコリが溜まり、そのホコリに湿気などの水分が付着することにより、電気プラグの両極間で電気の通り道ができ火花放電を繰り返します。その後、電気が流れることにより生じた抵抗で発熱し出火することがあります。



○対策：コンセントに差し込んだプラグは定期的に乾いた布で清掃しましょう。手の届きにくい部分も忘れずに！

◆半断線（電気コードを雑に扱わないようにご注意ください！）

多くの電気の配線は、複数の細い電線で構成されています。電気コードを引っ張ったり、家具等の下敷きにしたり不適切な取扱いなどにより、コード内部の電線の一部が断線（半断線）することがあります。半断線の状態で電気製品を使用すると、その部分が異常に発熱し出火することがあります。



○対策：プラグ本体を持たずに電気コードを引っ張ったり、家具などの下敷きにしないようにしましょう。

◆蓄熱（電気コードを束ねていませんか！）

電気コードを束ねて使用していると、コードから発生する熱がたまり、コードの被覆が溶けて出火することがあります。

○対策：電気コードを束ねたまま使用しないようにしましょう。

